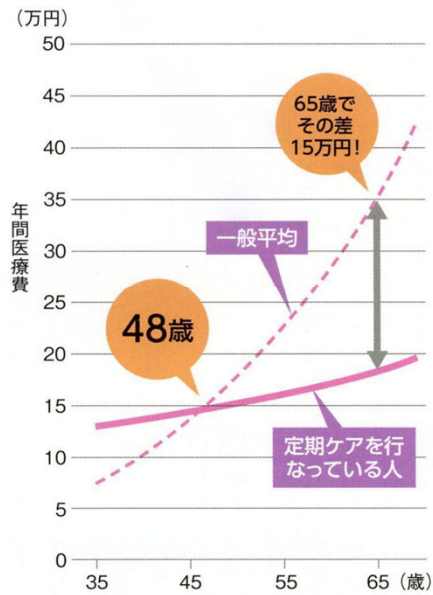


## 総医療費



\*35歳以上の組合員52,596人の医療費と受診歴のデータを分析。歯科医院で年2回以上、定期ケアを行っている602人を抽出し、総医療費を調べた。

もり歯科・矯正歯科 <http://www.2433718.com>

## 「生涯医療費」は歯の健康がカギ。 定期ケアをする人ほど低い傾向に。

歯の定期検診を受け、きちんとケアをすると、年間の総医療費が低くなる傾向にあることが、トヨタ関連部品健康保険組合（豊田市）と豊田加茂歯科医師会の共同調査で分かった。両団体では歯の定期ケアをする人を増やし、医療費削減に役立ててほしいと呼び掛けている。

検証によれば、歯科の定期検診を受けている人は、48歳までは総医療費が定期検診費用で年2万ほどプラスされて平均より高いが、49歳を過ぎると平均を下回る結果に。歯の健康と密接な関係がある生活習慣病などのリスクが下がることも要因の一つと考えられる。さらに65歳を過ぎると総医療費平均が35万円に対し、定期受診の人は20万円

以下とその差がだんだん広がっていく。組合は「歯が悪いと食事が偏ったり、歯並びが悪くなったりする。それが糖尿病や肩凝り、骨粗しょう症などを招き、体全体の健康に影響を与える」と分析。歯が健康であれば医療費も下がり、歯科の費用を含めても「生涯医療費」が低くなる

と結論づけた。  
歯の寿命をのばすことは、健康で明るく元気に過ごせる健康寿命をのばすことにつながる。平均寿命が延びる日本においては、歯と全身の健康のこの深い関わりに、もっと関心を高めていきたいところだ。歯は健康の窓口であることを意識し、より効果的な定期ケアを実践していきたい。

No17

